

令和5年12月定例会会議録

(令和5年12月25日)

八代市教育委員会

八代市教育委員会 12月定例会会議録

- 【開催日】 令和5年12月25日（月）
- 【場所】 八代市役所本庁4階 403会議室
- 【出席者】 北岡 博 教育長
渡邊 裕一 教育委員
早田 蛍 教育委員
澤村 互寛 教育委員
丸山 智子 教育委員
- 【出席職員】 中 勇二 教育部長
松川 由美 教育部次長
田中 智樹 教育部次長
下津 恵美 教育政策課長
田北 佳一郎 学校教育課長
稲本 健一 教育部理事兼教育施設課長
高崎 博文 生涯学習課長
櫻井 幸枝 教育サポートセンター所長
上角 愛美子 博物館未来の森ミュージアム副館長
松本 豊 教育政策課長補佐
- 【事務局】 萩本 誠子 教育政策課教育政策係長
浦本 美代子 教育政策課参事

（審議事項）

<議案案件>

- ① 八市教委議第27号 八代市心身障害児童生徒就学指導委員会条例の一部改正について

<報告案件>

- ① 報告第23号 臨時代理報告・八代市教育委員会職員の社会教育主事発令について
② 報告第24号 八代市議会令和5年12月定例会について

1. 開会 (午後2時00分 開会)
2. 会議録承認 令和5年8月臨時会
3. 教育長報告 前回の会議から今回までに参加した行事や事業、委任された事項などの中で特に重要と思われるものについて報告
4. 議題
〈八市教委議第27号〉 八代市心身障害児童生徒就学指導委員会条例の一部改正について

田北学校教育課長 平成24年7月に公表された中央教育審議会初等中等教育分科会報告において、委員会の名称についての提言を踏まえ、一部を改正するものである。

渡邊教育委員 名称変更については適切だと思う。参考までに、今年度、就学指導委員会の審査対象となった児童生徒数は、昨年度と比べていかがだったでしょうか。

田北学校教育課長 全体的な数としては、大きな変化はない。ここ最近は審議をする件数が多い状態が続いているが、大きな増減はなかった。

早田教育委員 平成24年に公表された内容について、11年を経過した今変更をするのはなぜだろうか。

田北学校教育課長 平成24年7月の報告書の内容については、就学時に特別支援学級がよいのか、通常学級がよいのかを審議し、各市町村の教育委員会が判断しているというものである。本市の場合は、小学校入学前に特別支援学級か通常学級か特別支援学校がよいかを判断しているが、入学後も保護者または学校から相談があった場合は、就学相談を行い、必要であれば委員会で審議し、適切な学級の判断をしている。国が提言した取組を本市ではすでに行っていたこと、また提言が「適当である」という表現であったため、当時は改正を行わず、大幅な内容の変更があった時に条例の改正をすることとしていた。今回、他市町村の条例を確認したところ、名称変更をしている市町村が増えているため、本市においても名称変更をした方がよいのではないかと考え、改正することとした。

【八市教委議第27号 承認】

〈報告第23号〉 臨時代理報告・八代市教育委員会職員の社会教育主事発令について

下津教育政策課長 臨時代理報告・八代市教育委員会職員の社会教育主事発令について、資料により説明

丸山教育委員 社会教育主事の発令が12月7日付けであるのは、どのような経緯があつてだろうか。

高崎生涯学習課長 発令を受けるに当たり、学歴、社会教育関係の業務経験年数及び社会教育主事の講習を受講することの3つの要件がある。対象の職員は、学歴、業務経験年数についてはクリアし

ていたが、講習の修了が11月末だったため、今回発令したものである。

丸山教育委員 全ての要件を満たした時点で発令をするので、年度途中の発令となるということでよいか。

高崎生涯学習課長 そうである。

北岡教育長 講習は1ヶ月程度であったか。

高崎生涯学習課長 1か月程講習を受け、修了した。

〈報告第24号〉 八代市議会令和5年12月定例会について

中教育部長 12月定例市議会においては、2人の議員から次の2件の質問があった。資料により説明

① 堀口 晃 議員

・小中学校における運動部活動の現状と課題について

② 太田 広則 議員

・公共施設における給水スポット導入による熱中症対策及びマイボトル推進について

澤村教育委員 部活動の社会体育への移行については、非常にご苦労されているかと思う。質問にもあったように、市民の方や保護者の方から、以前の学校での活動の方が良かったという意見があると思うが、今の方向性に向かってしっかり進んでほしい。地域で子供たちを育てようという実績を積んでいくしかないと思う。先生方の働き方改革でもあるので、小学校では先生方の負担がかなり減っていると思う。休みも取れるようになったという話も聞く。どのような連携ができるのか、地域の方にもしっかり理解していただき、積極的に参加していただけるような流れを作っていただきたい。時間がかかると思うが、積み上げていくと良い方向に向かうと思うので、よろしくお願ひしたい。

中教育部長 答弁する前に八代っ子クラブ連絡協議会の会長と話す機会があった。小学校については、地域の協力をいただきながら運営をいただいている。

八代っ子クラブ側から見ると、小学校側が手放したような、一緒になって進めていこうという感覚があまり感じられないと受け取っておられるようだった。学校に通っている子供たちなので、制度上、先生が直接指導されることは必要ないが、一緒に体力作りに取り組もうというような気持ちを伝えてほしいようだった。心配するのが、今から中学校を同じ

ように地域移行をしていく中で、指導は地域にお願いするが、学校も教育委員会も一緒になって取り組もうということだったが、だんだん手を引いていくと、小学校のときもそうだったから、中学校もそうなるのではないかというような受け止め方をされてはよくないと思う。八代っ子クラブ連絡協議会の中には、学校の代表も教育委員会からも入っているので、学校も一緒にといい気持ちは伝えたい。学校側からの積極的な発言等がないというように感じていらっしゃるので、教育委員会としても学校としても考えていかなければならないと個人的に感じた。中学校の移行に関しては、難しい問題であるが、その点も踏まえた上で検討を進めていきたい。

澤村教育委員

今の話を聞いて、そのとおりであると思う。ただ、今まで学校に全部おんぶに抱っこだったのが問題であり、それが学校の教員を疲弊させてきたのも事実であると思うので、思い切って切り離すべきではないかと思う。ICT教育や英語教育など、学校はすべきことがたくさんある。学校現場には、新しいことはどんどん入ってくるが、減ることはない。古いものを捨てましょうということとは言えない。ずっとそうやって自分たちの時間を差し出し、時間外勤務をして、体調を崩す先生方もいらっしゃる状況である。学校には期待しないでくださいと言っているのではないかと個人的に思う。それより、新しく必要なことをすべきであり、力を注ぐべきではないか。時間も無い、人員もいない状況で、物理的に無理ではないかと思う。教員になりたいと思う人がいないのではないかと思う。ますます人材が不足してしまう。教員を辞めて、つくづく思うことである。時代は変わってきており、若い人はブラックな職場には行きたくないというのが本音だと思う。

中教育部長

私の発言の本意は、部活動にもう一度学校の先生方を携わせようという意味ではない。運営協議会に学校の代表として校長先生などが入っておられ、先生方ができないことは地域の方も理解しておられる。子供たちの体力作りに取り組んでいただいていることへの感謝の言葉や気持ちはしっかり伝えたい。また、手を出すことはできないこともしっかり伝えながら、その中で学校が学校教育の中で行う部分とそれを理解していただいた上で地域が運営される八代っ子クラブが連携して、心を一つにして頑張っていく必要があるということである。話を元に戻して議論をしようということではない。

丸山教育委員

小学校の部活動移行は終わっていることであるが、中学校の部活動移行が控えている中で、受入れ側との感情的な行き違いはなるべくないようにしていかなければならないという

ことでのご発言だったかと思う。それについては慎重にすべきであると思う。地域の皆さんの気持ちも酌みながら、学校現場の負担も考慮しながらのことで大変かと思うが、頑張っていたきたい。

北岡教育長

中学校の運動部活動については、どの県も中学校が主体となって行っていると思う。余談であるが、小学校の運動部活動の地域移行が始まるとき、学校から離れるということで、社会体育の部分と学校との考え方の違いがあることで、もめることはないかということ、九州都市教育長協議会の理事会で理事になっておられる教育長の方々へお尋ねしたことがある。熊本県でこういう取組が検討されているが問題はないかと話すと、皆さんは何を言っているのだろうという表情をされた。熊本の常識でお尋ねしたところ、他の県では小学校は社会体育しかしていない状況であったため、熊本県が全国でもいくつかの県の独特な状況であったのかと思う。

孫が他県で社会体育での活動をしている。営業的な社会体育ではないが、指導者はたくさんの方であり、練習場所も日によって変わる。それが当たり前である世界とそうではなかった世界との差があるのかと思う。そういった点も理解していただく必要があると思う。学校の先生方から地域の方に「子供たちがお世話になります」などの声掛けがあると、やりがいが出てくるのかもしれない。学校としては、誰が携わっていらっしゃるのかを把握しておくことは必要なのかもしれない。

4. 連絡事項

教育政策課	第3回総合教育会議（2/20 13:00～） 2月定例会（2/20 15:10～）
学校教育課	終業式（12/22・泉小中は雪のため12/21） 始業式（1/9） 中学校修学旅行報告 中学校卒業式（3/8）公立高校合格発表（3/13）
生涯学習課	八代市二十歳の集い（対象者1,153名）（1/7）
教育サポートセンター	リーフレット「不登校について一緒に考えましょう」の作成（保護者一斉メール、2月回覧板にて周知） くま川教室オリジナルカレンダー完成
博物館	秋季特別展覧会閉会（12/3） 児童生徒の工作展、書写展（1月）
事務局	1月定例会日程確認（1/22 14:00～）

5. 会議録署名委員の指名

渡邊委員・澤村委員

6. 閉会

(午後 3 時 12 分 閉会)

令和 年 月 日

署名委員

記録者
